

# 関音研長野大会だより

—第4号— R5.10.1

発見！音楽のオモシロさ！

～音楽科における個別最適な学びと協働的な学びを通して～

発行：関音研長野大会事務局

## 笑顔がいっぱいあふれる大会に

長野大会副実行委員長 牛越 雅紀

(諏訪市立上諏訪中学校長)



平成24年全日本音楽教育研究会全国大会＜長野大会＞は、長野市及び周辺の小学校6校・中学校6校、幼稚園も合わせた授業公開、ワークショップ、記念演奏会などのプログラムで開催されました。あの時の熱い思い、活気、子どもたちの笑顔、一緒に歌った「信濃讃歌」の感動は、今も忘れません。大変なことはいっぱいあったけれど、あの時の経験は、長野県音楽教育の宝となって今に続いています。あれから10年以上が経ち、全国大会を知らない音楽の先生も増えました。あの時、授業者だった先生や、一緒に研究や運営に取り組んだ仲間が、今回は若い授業者を支え、研究や運営を支える中核となって頑張ってくれています。若い力もまだ見ぬ世界に向けて頑張ってくれていますし、諸先輩方もエールを送ってくださっています。あの時と変わらず大変なことはいっぱいありますが(!)、それぞれができることを精一杯取り組んでくれています。大会はこれからですけれども、感謝の気持ちでいっぱいです。紙面上の言葉だけでは済みませんが、心を込めて伝えます。皆様本当にありがとうございます。

関音研長野大会の大会テーマは「発見！音楽のオモシロさ！」です。斬新なテーマだと思いませんか？このテーマには、たくさん先生方の思いや意見が込められています。はじめは「よろこび」とか「ともに」、「つながり」、「ひろがり」、「深まり」などなど、「まあ、そうだよ」と誰もが感じるだろう単語が並んでいました。その中から、そもそも音楽ってなんだろう？なぜ音楽教育に関わっているのだろうか？なぜ音楽教師になったのだろうか？子どもたちにとって大事なことは何だろうか？などと考え合っているうちに「オモシロさ」が出てきました。この言葉、私の胸にはスッと落ちました。今も授業は「オモシロ」くありたいし、研究も運営も「オモシロ」がって楽しくやりたい！そんな気持ちでいっぱいになっています。

私たちは、今ある授業に満足し、安住することなく、子どもたちのために常に新しい授業を求めてきました。それが、諸先輩方から受け継いできた長野県の音楽教育だと思います。また、石川会長が「音楽の力で人と人とのつながりを復活させましょう。目の前の子どもたちのため、今日学んだ音楽が将来その子を支える杖になることを信じて。」とお話してくださいました。私は、この長野大会を、コロナ禍を越えた新しい時代の大会、子どもたちの豊かな成長を願う音楽教師の夢や希望が詰まった大会、そして、みんなの笑顔があふれる大会にしたいなあと強く強く思っています。それぞれの立場で、授業者として、共同研究者、参会者、運営スタッフとして、今できることに邁進していきましょう。そこで“人と人とのつながり”が確かなものとなり、子どもたちの心に残るオモシロくて楽しい授業が実現するでしょう。

これからの音楽教育はこの長野から始まる！

さあ、みんなで創り上げてきた私たち長野県の音楽教育に「自信」と「誇り」、そして「勇気」をもって突き進みましょう！

11月17日(金) 15:55~16:55 パネルディスカッション

# 「発見! 音楽のオモシロさ!」



オモシロいと思ったら人は学び始めます。オモシロさを発見したら人は学び続けます。オモシロさは、人間が人間らしい豊かな生活を送るための原動力です。ただオモシロさとは、人によって異なるものであること、そして時代と共に変容するものであることに留意しなければなりません。今の子どもたちが生きていく時代はまさにAIの飛躍的な進化の時代です。学び方の革命が起こるかもしれません。

さて、パネルディスカッションでは、本大会のメインテーマである「発見! 音楽のオモシロさ!」をテーマとして取り上げ、パネリストのみなさまから、ズバリ! 音楽のオモシロさとは何かについて答えていただきます。その上で、これからの時代の学校教育に、音楽のオモシロさをこれまで以上に加えていくためにはどうしたらよいかについて論議します。これまでの価値観や固定概念を超えて、子どもたち、そして私たち教員にとって音楽のオモシロさとは何かについて、宝探しのように探し求める60分間としたいと思います。論議そのものにもオモシロさを追求します。(コーディネーター: 齊藤忠彦)

## 登壇者のみなさんをご紹介します! ※五十音順

- 石川 武 氏 吹奏楽界でも著名な指導者! 現在は、上田市立清明小学校の校長先生です。
- 白井 学 氏 音楽教育界の著名人! 前調査官。現在は、県教委学びの改革支援課参事兼課長です。
- 江崎文武 氏 音楽番組のコメンテーターとしても活躍! これからの時代をリードする音楽家です。
- 小澤静佳 氏 音楽授業、吹奏楽部など頑張っています! 現在は、松本市立清水中学校の先生です。
- 河合紳和 氏 音楽教育界の著名人! 現調査官。音楽はもちろん英語やスポーツも得意な先生です。
- 高田梨香 氏 音楽授業、合唱部など頑張っています! 現在は、安曇野市立三郷中学校の先生です。
- 齊藤忠彦 氏 楽器収集及び面白い音探しが趣味とのこと! 現在は、信州大学教育学部教授です。

## 関音研長野大会

### 9月29日現在の申し込み状況

#### 【県内】

ブロック	北信	東信	中信	南信	合計
申込数	81	16	6	27	130

#### 【県外】

都県	東京	新潟	神奈川	栃木	山梨	群馬	千葉	埼玉	石川	大阪	京都	岐阜	合計
申込数	18	14	12	12	9	8	8	5	3	1	1	1	92

一次締め切り 10月18日(水)

二次締め切り 11月8日(水)

## お待ちしております



関音研長野大会 HP  
ここから申し込みます

